

## 豊川市スポーツ振興計画に基づくスポーツ振興状況（主なもの）

### 「するスポーツ」

#### ・市民のスポーツ実施率の向上（成人の週1日以上の実施率）

目標 H22：33% → H26：40% → H31：50%

現状 H25：37%

H22よりも向上しているものの、目標値とは差があるのが現状  
今回、スポーツに関する市民意識調査にて現状を把握する

#### （1）生涯スポーツの振興

##### ・総合型地域スポーツクラブ設立育成

H22～H25の5年間でまずは1クラブを新規に設立

将来的には、全中学校区（10校区）で設立

H15より音羽地区において音羽スポーツクラブが活動

H25より一宮地区において「わすぼ一宮」が設立された

H26以降、概ね2年に1クラブの設立を目指す

H25に小坂井地区にて設立に向けた、打合せ・説明会を開催

今後、早期にクラブ設立を目指す

##### ・レクリエーション・ニュースポーツなど大会・イベント開催

市民体育大会

トヨカワシティマラソン大会・豊川リレーマラソン

市民水泳大会

市民交流ソフトバレーボール大会

市民チックボール交流大会

ニュースポーツ出前教室

中学校区スポーツ交流事業

各小学校区の体育振興会においてスポーツ大会やイベント開催

#### （2）競技スポーツの振興

##### ・体育協会・スポーツ少年団の組織・充実

市より補助金を交付 各種実施事業における企画・運営の支援

自主運営化に向けた動きはない状況

##### ・競技スポーツ振興事業の強化・顕彰制度の充実

北京オリンピック出場（銅メダル獲得）した加藤ゆか選手へスポーツ功労賞

H24スポーツ振興基金設立（H24・H25の2ヵ年で2億円を積み立て）

H24からスポーツ振興基金を活用したスポーツ振興基金補助事業を実施

奨励金：市内小・中学校の部活動において一定規模以上の大会出場に際し交付

激励金：国際大会・全国大会へ出場する個人・団体・学校に対し交付

助成金：市民を対象としたスポーツ事業に対し助成

##### ・姉妹都市・友好都市等とのスポーツ交流事業の推進・支援

事業実施にはいたっておらず、それに向けた動きもない状況

## 「観るスポーツ」

### ・スポーツ観戦率の向上

目標 H22：5% → H26：10% → H31：20%

今回、スポーツに関する市民意識調査にて現状を把握する

### (1) トップレベルに触れる機会の充実

#### ・スポーツ選手ふれあい指導事業

子どもを対象に毎年種目を変更しながらトップアスリートを講師に招きスポーツ教室を実施

野球：中日ドラゴンズ

サッカー：名古屋グランパス

バレーボール：トヨタ車体クインシーズ

柔道：谷本歩美

陸上競技：ミズノトラッククラブ・千葉真子・谷川真理・森脇健児

#### ・浜松・東三河フェニックスバスケットボール交流会・教室

市内小・中学生を対象に浜松・東三河フェニックスの選手を講師に招き交流会・教室を実施

#### ・パブリックビューイングの開催

全国高等学校駅伝競走大会・選抜高等学校野球大会に出場する豊川高等学校を市民が一丸となって応援するべく、パブリックビューイングを開催

### (2) 競技水準の高い大会や競技会の開催・誘致

日本陸上競技連盟の第3種公認全天候型競技場として平成24年度にリニューアルオープンした市陸上競技場において、レベルの高い東海学生陸上競技選手権大会やサッカースプリングカップ等を誘致・開催

### (3) 気軽に観戦ができる利用しやすい施設の整備

体育施設整備や備品購入等を計画的に実施

いずれの施設においても老朽化している現状がある

ファシリティマネジメントとあわせて、体育施設の修繕・改修計画の早期策定が必要である

指定管理者制度の活用により市民サービスの向上と経費縮減を図る

## 「支えるスポーツ」

### ・指導者・スポーツボランティアの登録率（人口比率）の向上

目標 H25：5% → H31：10%

今回、スポーツに関する市民意識調査にて現状を把握する

### (1) スポーツ指導者・ボランティアの養成

市スポーツ振興の要であるスポーツ推進委員において、国・県を始めとする各種研修会に積極的に参加

市スポーツ推進委員会主催により委員の資質向上を図るべく、実技講習会、AED

講習会を実施 平成25年度からは新任委員研修会や委員交流大会を新たに実施  
体育協会、スポーツ少年団主催により講演会や講習会を開催  
スポーツ指導者・ボランティア登録・派遣制度が市民に広く知られていない  
有効活用を図る必要がある

## **(2) スポーツ関係団体の育成**

校区体育振興会・体育協会・総合型地域スポーツクラブへ補助金・助成金を交付

## **(3) 学校・地域・行政の融合**

学校運動部活動へ外部指導者を派遣

総合型地域スポーツクラブと学校との連携強化

## **(4) スポーツ情報の整備**

スポーツ情報の積極的な発信

公共施設予約システムの充実

## **「スポーツ環境・施設の整備」**

### **(1) 市域型体育施設の整備・充実**

体育施設整備や備品購入等を計画的に実施

いずれの施設においても老朽化している現状がある

指定管理者制度の活用により市民サービスの向上と経費縮減を図る

ファシリティマネジメントとあわせて、体育施設の修繕・改修計画の早期策定が必要

### **(2) 地域型体育施設の整備・充実**

学校開放体育施設においても教育委員会庶務課と連携を図りながら、計画的に改修